

川西市子ども・子育て会議
「市立幼稚園と保育所のあり方について」各委員からのご意見

各市立・私立幼稚園の開設年月は記載してあるが、バリアフリーの状況（障がい児保育）、夜間保育、延長保育、預かり保育等の特別なニーズのある保育についての状況をあわせてお示し頂きたい。どの様な保育サービスを実施すれば、定員が充足できるのか検討するため。

市立幼稚園それぞれの状況に応じて、対応策は異なってくると思われるが、充足率が30%にも満たない幼稚園は、その地域に他に幼稚園が存在するのであれば、廃園という道を考えることも必要だろう。ただその地域に保育園が足りないとなれば、幼稚園を保育園にして民間委託する方法も考えることが出来る。

川西市は他市に比べると民間委託率が低いが、民間委託することによって、一施設につき、五千万円～六千万円の財政効果があることから、耐震工事費や改築費に充てることも出来る。

民間委託するにあたっては、市外から法人を誘致するのではなく、川西市内現存の私立保育園や幼稚園、あるいは地域保育園も視野に入れて考えていただきたい。

子育て世帯にとって最も関心の高い問題である。日常的に質問・意見等の多い問題であるので、部会にて議論し、意見をまとめたいと思っている。

幼稚園に入園希望の親は、料金ではなく教育内容を重視し、園を選択する例が多いので、市立幼稚園定員回復には教育内容改革が求められる。

それができないのであれば、認定こども園として保育要素を重視した方向への切り替えが望まれる。

2012年8月、三党合意で児童福祉法24条1項が残りました。これは、保育所保育の存在意義があることで残ったのだと考えます。このことから考えますと、公立保育所は、保育所そのまま残していくべきものであると思いますし、幼稚園もまたそのまま残すべきです。

市立幼稚園の定員割れ、保育所の待機児の問題、耐震化の問題等を考え合わせて、幼稚園と保育所を一緒にし、認定こども園化することで「子どもの最善の利益」が得られるのか等、他市の公立間の認定こども園の視察なども含めて、その上で十分に議論する必要があると思います。（要約して掲載）

公立幼稚園が定員割れしているのはよく分かっているのですが、加茂幼稚園が3年になって定員が増えたのであれば、3年にしていただけたらと思います。